

2020年度

事業計画書



公益社団法人 日本キャンプ協会

2020 年度  
公益社団法人日本キャンプ協会  
事業計画

2020 年度 公益社団法人日本キャンプ協会 基本方針.....	1
ビジョン 2020 の推進に関する取り組み .....	2
キャンプの活動を発展させ、広めていく事業(公益目的事業 1) .....	3
よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業(公益目的事業 2) .....	8
キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業(公益目的事業 3) .....	1 1
法人事務 .....	1 2

2020 年度  
公益社団法人日本キャンプ協会  
基本方針

2020 年度の日本キャンプ協会は、新たな協会運営をめざした「ビジョン 2020」が最終年度を迎えます。これまでの運動を評価して、2021 年度以降の協会運営に、どの様につながっていくのかが大切なテーマとなります。また、厳しい経営状況をふまえて、昨年度からスタートした「事業 3 か年戦略」についても、実施計画を確実に実行することが必要となります。

公益目的事業 1 である「キャンプの活動を発展させ、広めていく事業」では、リニューアルした WEB サイトを活用して、日本協会や都道府県キャンプ協会の活動情報、様々なキャンプ関連の新着情報を幅広く発信します。第 4 期（2020～2024 年度）指定管理者の更新が決まった朝霧野外活動センターでは、キャンプ＝「人づくり」の実践の場として、施設運営の拡充に更に努力します。また、2020 年度で終了する「ビジョン 2020」の検証を行い、2021 年度以降の新たなビジョンの提言を行います。

公益目的事業 2 である「よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業」では、キャンプと人をつなぐ「キャンプ案内人(ガイド)」の人材養成に努めます。キャンプ指導者の養成と併せ、キャンプに関心のある人たち向けに開発したキャンプマイスターを全国で推進します。また、「キャンプ×◎◎」をコラボレーションした新しいキャンププランの創造（次世代応援、多チャンネル連携、社会的課題対応）に継続して取り組みます。昨年度参入した文部科学省認定・教員免許状更新講習は、キャンプ指導者養成の専門性を活かし、教育現場の先生方にキャンプ指導の魅力を伝えます。キャンプ指導者の資格制度については、時代に相応しい、新たな資格制度の導入を検討します。

公益目的事業 3 である「キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業」では、「日本キャンプミーティング」は、助成金や協賛金による開催を継続し、広く社会に開かれた大会をめざします。また、「キャンプ研究」の発行では、キャンプの歴史、潜在的なチカラ、新しい可能性など、様々な調査、研究の成果を紹介し、キャンプの質の向上に貢献します。

法人事務においては、各事業の運営方法や支出の見直しを行い、アウトソーシングや新たなシステムの導入を検討して、事務局機能の見直しをはかります。また、公益法人にふさわしい寄付金制度の可能性をあらためて検討します。

様々な改革は、厳しい側面ばかりがクローズアップされて、日本キャンプ協会がもつ、楽しさや遊び心とかけ離れていくようで、戸惑われる部分が多いと思います。また、公益法人という組織は、民間企業のように、収益や効率性だけが優先されるものではないという考え方もあると思います。

しかし、日本キャンプ協会や都道府県キャンプ協会が、これからも「キャンプの楽しさ」を地域社会に伝え続けるためには、自立した信頼される組織でなければ、このことは実現できなくなる恐れがあります。第 2 次アウトドアブームの中、世の中のキャンプに対する見方が大きく変化する中、日本キャンプ協会の存在はますます問われています。今一度、「キャンプとは何か？」という原点に立ち戻りながら、本来のキャンプの魅力を、しっかりと伝え続けることが出来る、キャンプ協会をめざす年でありたいと思います。

## ビジョン 2020 の検証と進化

最終年度を迎えるビジョン 2020 は、社会の様々な課題や変化に対して、キャンプのチカラを活用し、都道府県キャンプ協会と連帯しながら、様々な活動を展開してきました。これまでの活動を検証したうえで、2021 年度以降の新たなビジョン（使命）の策定に着手します。

### 1. 「キャンプの案内人(ガイド)」の養成

組織キャンプの素晴らしさを伝えるために、「キャンプ指導者養成」や「教員免許状更新講習」を継続します。また、誰にでも、キャンプの楽しさや魅力を、より身近に感じてもらうための「キャンプマイスター」の取り組みを全国で広げていきます。

- ・ キャンプ指導者の養成（公益目的事業 2-1）
- ・ 教員免許状更新講習の継続（公益目的事業 2-9）
- ・ キャンプマイスターの拡大（公益目的事業 1-6）

### 2. 「つながる力」「たのしむ力」「たちむかう力」を実感できるキャンププランの提案

社会の課題に向き合い、問題解決の糸口を探るために、異分野、異業種とのコラボレーションによるキャンプのチカラを活かす活動は、キャンプの潜在力を世の中に PR できる絶好の機会といえます。地域や多くの人々とつながりをめざし、新しいキャンプを積極的に創造します。

- ・ 次世代応援のキャンププランの実施（公益目的事業 2-6）
- ・ 多チャンネル連携のキャンププランの実施（公益目的事業 2-6）
- ・ 社会的課題対応のキャンププランの実施（公益目的事業 2-6）

### 3. 社会の変化に対応して意識改革に取り組む

地域にキャンプの魅力を伝え、多くの人たちにキャンプに参加してもらうためには、協会自体が信頼される組織でなければなりません。そのためには、自分たちが出来ることと、出来ていないことを、しっかりと見極め、過去のやり方にこだわらず、常に社会の変化に柔軟に対応できる、意識改革と組織改革を実行します。

- ・ 都道府県キャンプ協会と日本キャンプ協会の自主、自立（法人事務）
- ・ WEB サイトのリニューアル、効果的な情報発信（公益目的事業 1-1）
- ・ 地域の魅力を再発見するキャンプやイベントの実施（公益目的事業 3-1）



## キャンプの活動を発展させ、広めていく事業（公益目的事業1）

キャンプの活動を発展させ、広めていく事業では、キャンプがもつ様々なチカラを世の中に発信し、キャンプの素晴らしさを体験できる機会を提供します。都道府県キャンプ協会との連携、他団体との共同、先駆的な事例の情報収集などを行うと共に、そこで得られた情報の共有を積極的にはかります。

### 1. キャンプに関連する情報の発信及び相談業務

会報誌「CAMPING」の発行、WEB サイト、SNS、メールマガジンなどを活用し、キャンプ情報の収集と発信に努める。キャンプインフォメーションセンターでは、キャンプに関心のある市民、他団体、行政、企業、マスコミなどの相談に対応するとともに、キャンプ文化の醸成のための支援を行う。

#### (1) 会報誌「CAMPING」の発行

キャンプの教育的・社会的意義の考察、新しいキャンプスキルの紹介、キャンプ指導者養成講習会、キャンプのイベント情報などを、指導者会員のみならず、全国の野外教育関係者、広く一般の人々にも伝えるために、会報誌「CAMPING」を年4回発行する。

NO.	192	193	194	195
発行日	4月15日	7月15日	10月15日	1月15日

発行部数：約10,000部/回

#### (2) WEB サイト及び公式 Facebook ページの運用

WEB サイトのリニューアルに伴い、日本協会や都道府県キャンプ協会の活動紹介や新着情報、野外関係団体の情報、キャンプについての最新情報を幅広く提供する。また、会員とのコミュニケーションをはかるために、WEB サイトのスマホ版を導入し、サイトへのアクセス数の増加をめざす。

WEB サイト：<http://www.camping.or.jp>

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/ncaj.sns>

#### (3) メールマガジンの配信

キャンプやアウトドアに関心のある人たちを対象に、タイムリーに情報提供するメールマガジン「CAMPING News」を発行する。

発行回数：年間17回程度(概ね3週間に1度の発信)

購読者数：約3,000人

#### (4) キャンプインフォメーションセンター

市民、他団体、行政、企業、マスコミなど、社会からのキャンプに関する問い合わせ窓口として、キャンプインフォメーションセンターを運営する。具体的には、キャンプ情報の紹介、指導者派遣、キャンプ企画・支援などを行う。

## 2. 静岡県立朝霧野外活動センターの運営(自然体験活動実践の場の提供)

静岡県教育委員会社会教育課が所管する施設、静岡県立朝霧野外活動センターを県内の野外教育関係団体と協働し、日本キャンプ協会グループとして2007年度より13年に渡り、管理運営してきたが、今年度から新たに5年間、第4期目としてのスタートとなる。これまでの経験と実績を活かし、静岡県内外の様々な社会教育団体及び学校団体が実施する様々な活動を支援し、野外活動の拠点施設として、また、日本キャンプ協会のキャンプの実践の場として、子どもを対象とした長期の組織キャンプを中心に、様々な人々を対象とした活動及び自主事業を提供し、キャンプ並びに自然体験活動の普及に努める。

なお、朝霧野外活動センター運営委員会を設置し、今後のセンター運営の適正化をはかる。

### (1) 自然体験活動事業(自主事業)の実施

計画する主催事業それぞれについて、キャンプ及び自然体験活動の普及のために、新たな地域からの参加者を取り込む努力をしながら、同時にプログラムの充実を行う。

「朝霧高原サマーキャンプ～つながろう富士山～」及び「長期キャンプ指導者養成講習会」は、子どもを対象とした長期キャンプとその指導者養成事業の機会として重要な事業のため、引き続き最優先事項として取り組む。2017年度より開催している「ナビゲーションスポーツ・キャンプ in 朝霧(NSCA)」は今年度で4回目の開催となるが、マウンテンオリエンテーリングの大会及び一般の人々を対象としたナビゲーションスポーツの普及の機会として高い評価を受け、認知も進んでいるため、引き続き事業の定着を図る。「朝霧高原ホッとキャンプ」は、不登校児童生徒や引きこもりがちな青少年への対応が十分に整備されていない地域に向けて、広報活動を強化し、事業のより一層の周知と拡充を目指す。

#### 青少年自然体験事業

事業名	日程	対象	備考
朝霧高原サマーキャンプ ～つながろう富士山～	6月28日	小学校5年～ 中学校3年生	事前研修
	8月2日～10日		本研修

#### 野外教育指導者養成事業

事業名	日程	対象	備考
野外活動プログラム実習	4月17日～18日	利用団体の担当者 及び指導者	1泊2日
	11月6日～7日		
長期キャンプ 指導者養成講習会	6月13日～14日	専門学校生 短大生 大学生	全4回参加が必要 8月2日～10日は 朝霧高原サマーキャン プと並行開催
	7月11日～12日		
	8月2日～10日		
	10月17日～18日		
野外教育指導者養成講習会	2021年2月5日～7日	野外教育に興味のある人 青少年団体の指導者 教育関係者	

### 県民自然体験事業

事業名	日程	対象	備考
ちょっといい春感じませんか	4月25日～26日	家族・小グループ	
ナビゲーションスポーツ・ キャンプ in 朝霧	9月5日～6日	家族・小グループ	
ステキな秋をあなたに	10月3日～4日	家族・小グループ	
オリエンテーリング in 朝霧	11月21日～22日	家族・小グループ	
スケートキャンプ	11月6日～7日	家族・小グループ	
	12月11日～12日		
	2021年1月8日～9日		
	2021年1月22日～23日		
	2021年2月12日～13日		
2021年3月12日～13日			
223(ふじさん)ウォーキング	2021年2月23日	家族・小グループ	静岡県富士山の日
プラネタリウムと星空探訪	2021年3月5日～6日	家族・小グループ	

### 施設開放事業

事業名	日程	対象	備考
プラネタリウム一般開放	原則毎月第3日曜日 春休み・冬休み期間	家族・小グループ	①13:00～14:30 ②15:00～16:15
スケート一般開放	11月～3月の原則日曜日 春休み・冬休み期間	家族・小グループ	①13:00～15:00 ②15:30～17:30
スケートフェスティバル in あさぎり	11月3日 2021年3月7日	家族・小グループ	
朝霧カーニバル	11月3日	どなたでも	
あさぎりっ子スケートクラブ	11月～3月の 水曜日又は木曜日	センター周辺の小学校(5校)に通う児童とその家族	15:30～17:00

### 社会問題に対応した事業

事業名	日程	対象	備考
朝霧高原ホッとキャンプ	2021年2月12日～14日 2021年3月5日～7日	不登校児童・生徒 引きこもりがちな青年	2泊3日

### 自然環境保全に配慮する事業

事業名	日程	対象	備考
走れば山が美くなる	通年 事業開催時	事業参加者	インターネットによる啓発を中心に実施する

## (2) 受け入れ事業の支援

朝霧野外活動センターを利用する社会教育団体及び学校団体に対して、实地踏査や事前の利用打ち合わせも含めて、それぞれの団体の利用目的や団体の状況に合わせたきめ細かい支援をする。各活動の運営方法、計画の立て方、实地踏査の行い方、安全管理と危機管理の方法及び実際のプログラム運営の支援など、研修の実施にあたって必要となる事柄について、個別に対応し、利用団体の実施する研修活動がより効果的なものとなるようにサポートする。

## (3) プログラム開発

- ・2018年度に2回開催した幼児キャンプは、開催する季節と規模を変えて実施し、より効果的な開催の仕方を検討する。
- ・地域の自然、史跡、文化、地質、産業などの資料を収集・整理し、センターで提供できる野外活動プログラムと合わせてまとめ、利用団体に提供できるようにする。

## (4) 地域との協働

- ・これまでに、隣接する富士丘地区をはじめ近隣地域と深めてきた信頼関係のもと、近隣地域の住民が進めている朝霧高原地域の地域振興などの取り組みにも参画する。
- ・地域の住民や周辺施設の職員などを招いて地域懇談会を開催し、朝霧野外活動センターの運営状況を説明するとともに、センターの運営に関する意見や提言を募り、運営に生かす。
- ・国立中央青少年交流の家が推進する「静岡子ども体験フェスティバル」の開催に協力して、朝霧野外活動センターを会場にして、朝霧カーニバルと同日開催する。この事業は、地域住民、地域の施設、県内外の青少年教育施設及び社会教育団体などの参加を得て、朝霧高原地域のイベントとして実施できるようにする。

## 3. 地域の関係団体との連携

地域のNPO法人、野外教育団体、キャンプ場、教育機関、企業などと、各種情報の相互共有、キャンプ指導者養成の共同をはかり、キャンプ・野外関係団体のネットワークを拡充する。

- ・課程認定団体によるキャンプ指導者の養成（公益目的事業2-1）
- ・WEBサイトのリンクによる各種情報の共有、発信（公益目的事業1-1）

## 4. 他団体との共同で行う事業

日本YMCA同盟、東京YWCA、ボーイスカウト日本連盟、日本キャンプ協会が協力して、「人を育てるキャンプ」に携わる団体として、キャンプの素晴らしさを広く社会に伝え、指導者の養成につながる事業を行う。

- ・出会いと体験の森へ第8期





## 5. 国内外の情報の収集と提供

国際キャンプ連盟やアメリカキャンプ協会を始めとした海外のキャンプ関係団体とのネットワークを活用して、国内外のキャンプ情報の収集と発信をする。

### (1) 国内外情報の提供

海外で行われるキャンプ会議、国際大会、イベント、最新のキャンプ活動や研究などの情報を収集し、WEBサイトやSNS、CAMPING、メルマガなどを通じて、国内に広く紹介する。

- ・第12回国際キャンプ会議 2020 in China の広報、情報収集、提供

○日時：2020年10月14日～18日

○会場：北京国際カンファレンスセンター

○テーマ：与/世/界/为/营 ～ONE WORLD ONE CAMP～

- ・アメリカキャンプ協会年次総会(ACA National Conference)

○日時：2021年2月中旬

- ・ICFを通じた海外からの問い合わせに対応

### (2) 国内情報の海外への発信

日本のキャンプ事情をはじめ、日本のキャンプ指導者養成制度、調査や研究成果などを、広く世界に紹介し、世界のキャンプ文化の発展に貢献する。

## 6. 都道府県キャンプ協会の事業支援 ～ビジョン2020の推進と検証～

全国47都道府県のキャンプ協会で行われるビジョン2020推進事業の取り組みについて積極的に支援を行う。また、これまでのビジョン2020の検証を行い、今後のビジョンの方向性を定める。

## 7. 「キャンプ安全の日」全国一斉キャンペーンの実施

キャンプを楽しく有意義な活動とするためには、キャンプをする一人ひとりの安全意識を高めることが常に求められる。全国にある都道府県キャンプ協会のネットワークを活かし、7月第3日曜日「キャンプ安全の日」に、全国一斉の安全啓発キャンペーンを実施する。

- ・キャンプ安全の日：2020年7月19日(日) ※7月第3日曜日

- ・キャンペーン期間：2020年7月1日(水)～8月31日(月)

## 8. 都道府県キャンプ協会に対するキャンプ用品・用具の配備

都道府県キャンプ協会で行う各種事業に使用するテントは、経年劣化により定期的な更新が必要となる。より多くの人々に、キャンプの普及事業が安定的に実施できるように、助成金を受けて、キャンプや講習会、イベントなどで使用するキャンプ用品、用具の配備を行う。

- ・一般財団法人日本宝くじ協会に助成金を申請(2019年10月に申請済み)

## よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業（公益目的事業 2）

キャンプ指導者養成事業は、日本キャンプ協会の大切な事業の一つですが、キャンプの大衆化が進み、誰もがキャンプを手軽にできる時代の到来とともに、キャンプ指導者の必要性が問われています。これからも、キャンプ指導者養成は、社会に役に立つ「人づくり」であることを様々な方法で伝えながら、組織キャンプの楽しさ、有用性を理解するキャンプ指導者の養成に努めます。

### 1. 公認指導者養成

#### (1) キャンプインストラクター養成

初級資格であるキャンプインストラクターの養成は、都道府県キャンプ協会および課程認定団体が主催して実施する。特に、全ての都道府県キャンプ協会において目標数を設定し、キャンプインストラクター養成講習会の開催を目指す。

#### (2) キャンプディレクター2級養成講習会

中級資格であるキャンプディレクター2級の養成は、都道府県キャンプ協会および実施承認を得た課程認定団体主催で実施する。講習会への参加者との登録者数を増やすために、推薦制度の見直しと活用を積極的に推進する。

#### (3) キャンプディレクター1級養成講習会

上級資格であるキャンプディレクター1級の養成講習会は、日本キャンプ協会主催で実施する。1級資格者の増員のために、東西2会場で講習会を開催する。また、講習会への参加者と登録者数を増やすために、推薦制度の見直しと活用を積極的に推進する。

##### ○東日本会場

日 程：2020年11月21日(土)～23日(月祝)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

##### ○西日本会場

日 程：2020年12月11日(金)～13日(日)

会 場：大阪府立少年自然の家

#### (4) キャンプディレクター1級検定会

キャンプディレクター1級の検定会は、日本キャンプ協会主催、東西2会場で実施する。

##### ○東日本会場

日 程：2021年1月23日(土)～24日(日)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

##### ○西日本会場

日 程：2021年2月13日(土)～14日(日)

会 場：神戸市青少年会館

## 2. キャンプ指導者の審査・認定

(1) キャンプインストラクター新規資格申請者の審査・認定	目標 1,800 人
(2) キャンプディレクター2 級申請者の審査・認定	目標 70 人
(3) キャンプディレクター1 級申請者の審査・認定	目標 30 人
(4) 指導者資格(インストラクター・ディレクター)の更新	目標 6,500 人
(5) 新規課程認定団体の審査・認定	目標 10 団体

## 3. 指導者養成のためのテキスト発行

キャンプインストラクター養成用として『キャンプ指導者入門』、キャンプディレクター養成用として『キャンプディレクター必携』の2種類のテキストを発行する。

## 4. 課程認定団体指導者研修会

キャンプインストラクター養成講習会およびキャンプディレクター2 級養成講習会を主催する課程認定団体を対象に、カリキュラム、講習方法の説明、講習会の企画、運営、事務手続きなどについての研修会を開催する。また、研修会の義務化に向けた検討を行う。

日 程：2020 年 5 月 23 日(土)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

## 5. 都道府県キャンプ協会指導者研修会

全国の都道府県キャンプ協会の運営を担う指導者が集まり、各協会の運営状況などを共有し、継続的な指導者養成、自立した協会運営を可能にするための研修を行う。

日 程：2020 年 10 月 24 日(土)～25 日(日)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

## 6. 課程認定団体の増強への取り組み

課程認定団体の会員増強を強化するために募集活動を継続する。野外教育団体、キャンプ場、教育関係者を養成する大学、専門学校などに、定期的に案内を郵送する。

## 7. 指導者養成制度改訂に向けた検討

現行の指導者養成制度は、2006 年に運用が始まり 13 年が経過した。この期間、キャンプを取り巻く社会情勢は大きく変化しており、カリキュラム、養成方法、登録制度など、時代に相応しい内容に改訂する。また、指導者養成制度を活用した、新たな対象者へのアプローチも検討する。



## 8. 教員免許状更新講習の実施

2年目となる文部科学省認定の教員免許状更新講習は、野外教育の専門職や都道府県キャンプ協会と協力して、教育現場で活用できるキャンプの指導法、基本技術の習得、安全管理などについて学ぶ講習会を全国13会場で実施する。

開催地	会場	開催日
北海道	札幌市滝野自然学園	8/16(日)～18(火)
宮城県	宮城県松島自然の家	8/11(火)
山形県	山形県朝日少年自然の家	9/6(日)
茨城県	茨城県立里美野外活動センター	7/21(火)～23(木)
埼玉県	埼玉県立長瀬げんきプラザ	7/30(木)～8/1(土)
東京都	国立オリンピック記念青少年総合センター	8/5(水)～7(金)
山梨県	山梨県立愛宕山少年自然の家	8/10(月)
静岡県	静岡県立朝霧野外活動センター	8/3(月)～5(水)
愛知県	愛知県美浜少年自然の家	8/10(月)～12(水)
奈良県	吉野宮滝野外学校	7/24(金)～26(日)
香川県	丸亀市栗熊コミュニティセンター	8/22(土)
福岡県	福岡県立少年自然の家「玄海の家」	7/21(火)～23(木)
鹿児島県	かごしま県民交流センター	8/6(木)

## キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業(公益目的事業 3)

キャンプがより社会の役に立つためには、その質の向上は欠くことができません。国内外で行われているキャンプの実践や研究についての調査、情報の収集、整理を行い、実践者、研究者に関係資料の提供を行います。また、蓄積した情報については、分かりやすく社会へ伝え、キャンプの社会的な意義がより高まる活動を展開します。キャンプに関心のある人が、出会い、互いに学び合い、実践できる場を支援し、キャンプ文化を育むための働きを行います。

### 1. 第 24 回日本キャンプミーティングの開催

日本全国で活躍しているキャンプ関係者、アウトドア関係者が、日頃の実践や研究の成果を発表し、参加者同士が学び合い、ネットワークを構築することができる場を提供する。また、助成金を活用しながら、広く一般の方にも参加しやすい開かれた大会を目指します。

日 程：2020 年 11 月 13 日(金)～14 日 (土)

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

### 2. 定期刊行物『キャンプ研究』

キャンプスキルや専門知識を高め、世の中にキャンプのチカラを広く伝えることを目的に、キャンプに関する論文や実践報告、最新動向などを掲載した『キャンプ研究第 23 巻』を発行する。PDF 版を WEB サイトで公開するとともに、課程認定団体や各図書館への所蔵を働きかけ、広く読まれるよう配慮する。

発 行 日：2021 年 1 月 15 日(金)

発行部数：3,000 部/年

### 3. 安全に関する啓発活動

キャンプを安全に行うための情報提供(ハンドブック、小冊子)を、PDF 版の WEB サイト公開や送付などを継続して行う。また、安全に関する最新情報や研究、調査結果を日本キャンプミーティング、指導者講習会などで紹介する。



## 法人事務

2019年度からスタートした事業3か年戦略に基づき、引き続き、各事業の運営方法や支出の見直しを徹底し、運営の効率化を図りながら、健全な財務管理に努めます。同様に、都道府県キャンプ協会と協働して、キャンプの普及、振興のための事業が、各地で円滑に行えるよう、役員及び運営委員とともに、事業内容、運営について継続して協議を行います。

### 1. 諸会議の開催

- (1) 定時社員総会：2020年6月6日(土)
- (2) 理事会：2020年5月17日(日) / 2020年6月6日(土)臨時 / 2021年3月6日(土)
- (3) 執行理事会(年6回程度)
- (4) 運営委員会 / 実行委員会等

各会議体は、基本方針事業計画に基づき、理事会(執行理事会)からの任命により、定められた期間において、事業計画の目的を達成するために、責任と権限を与えられて、協議と運営を行う。また、執行理事会との連携を図るために、随時、執行理事会に提案、報告などを行う。

名 称	目 的
CAMPING 編集委員会	CAMPING の企画、編集
指導者養成委員会	課程認定団体指導者研修会の企画、運営 指導者養成制度の検討 D1 養成講習会、検定会の企画、運営
地域連携委員会	都道府県キャンプ協会の支援 各ブロックの連携事業の検討 各ブロック会議の議題確認など 都道府県協会指導者研修会の企画、運営
ビジョン 2020 推進委員会	ビジョン 2020 アクションプランの推進、検証 ネクストビジョン 2025 (仮称) の提言
総務委員会	事業計画・予算の編成、執行状況のチェック 事業計画外事業、人事などの協議、決済、承認
日本キャンプミーティング実行委員会	第 24 回日本キャンプミーティングの企画、実施
朝霧野外活動センター運営委員会	朝霧野外活動センターの運営に関する委員会

※地域連携委員会は、ビジョン 2020 の事業推進をはかるために、必要に応じて、ビジョン 2020 推進委員会を合同で開催する。

※各委員会の開催にあたっては WEB 会議を導入し、情報共有や意思決定の迅速化を図る。

(5) 他団体と共同で行う事業に関するもの

名 称	目 的
出会いと体験の森へ実行委員会	青少年教育団体で実施する「人を育てるキャンプ」に関連する事業の企画、運営
中央青少年団体連絡協議会世話人会	研修会、懇談会、新年互礼会など

## 2. 都道府県キャンプ協会の活動に対する支援

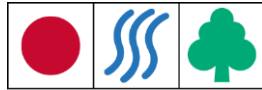
都道府県キャンプ協会は、地域社会におけるキャンプの普及、振興の中心的存在である。日本協会は、各協会の活動が活性化するように、それぞれの実情に合わせ、有用な情報の提供をはかり、効果的な事業活動を支援する。

- (1) 都道府県キャンプ協会指導者研修会の開催（公益目的事業 2-5）
- (2) 都道府県別ブロック会議への参加
- (3) 都道府県キャンプ協会の行う諸事業の支援
  - ・ 会報同封サービスの提供  
※会報誌や講習会案内などを CAMPING に同封して会員に安価に送付するサービス
  - ・ WEB サイト用サーバー及び専用メールアドレスの提供
  - ・ 各種情報の提供サポート

## 3. 日常法人事務

作業負担の大きい事務業務の抜本的な見直しを行い、アウトソーシングや新たなシステムの導入を含め、業務の効率化を進める。また、行事や各種手当の見直し、消費税の外税方式への導入など、支出の抑制に努める。さらに、公益法人として相応しい寄付金制度の活用方法をあらためて検討をする。

- (1) 会員情報管理
- (2) 会費等徴収
- (3) 事業方針、事業計画、予算管理
- (4) 日常経理業務
- (5) 事業運営管理
- (6) 寄付金、助成金事務
- (7) 人事管理、職員研修
- (8) 渉外事務
- (9) 庶務



**NCAJ**

National Camping Association of Japan

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
TEL:03-3469-0217 FAX:03-3469-0504  
Email:ncaj@camping.or.jp